

SDGsと食

～いかなるフードシステムが持続可能か



日時

2021年 **6/27 (日)** 14:00～17:00 接続可能時間5分前

開催形式

オンライン (Zoomウェビナーを使用) 社倫研Webページよりお申込み下さい

講演者 演題

おおむろ なおこ

大室直子 (WFP国連世界食糧計画日本事務所・民間連携担当マネージャー)

国際食料支援がもたらすインパクト

講演者 演題

おおた かずひこ

太田和彦 (南山大学総合政策学部 准教授)

フードスケープをつなぐ：望ましい食について論じる場を作る一手法

コメンテータ

ウィニバルドス ステファヌス メレ (南山大学社会倫理研究所 准教授)

司会

籠橋一輝 (南山大学社会倫理研究所 第二種研究所員/国際教養学部 准教授)

SDG2「飢餓をゼロに」という目的は、現に多くの人々や集団に共有されているものだと思うが、一方で、そこに至るまでには様々な道筋がありうる。多国籍企業に見られるような、農業生産を効率化する全体重視のアプローチもあれば、家族農業により大きな権限を与えるべきだというローカル重視のアプローチもある。これらの立場の衝突を解消するのは一見して困難に思われるが、この衝突が解消されないままでは、「飢餓をゼロに」という目的の実像も曖昧なままになってしまうだろう。私たちはどのようにこの目的を捉えればよいのだろうか。本懇話会では、WFP国連世界食糧計画日本事務所民間連携担当マネージャーを務めておられる大室氏をお招きし、グローバルなガバナンスの観点から国連の実務の実情についてお話を伺い、また、日本における食農倫理学の第一人者である太田氏をお招きして、持続可能なフードシステムについて、食に関する倫理的な視点からお話いただき、参加者のみなさんとの討論を交えてSDGsと食についてじっくりと考えてみたい。

